

令和4年度決算の概要

地方公会計制度に基づく財務諸表などを活用した一般会計決算を4日間集中審査

一般会計決算は、17名で構成する決算審査特別委員会を設置し、審査しました。

また、特別会計決算は市民厚生委員会、企業会計方式となった下水道事業会計決算は建設環境委員会で審査し、それぞれ原案のとおり認定されました。

一般会計決算の審査から

令和4年度決算の特徴点について

問 決算の特徴を伺う。

答 一般会計の歳入は、市税の増等により前年度比1・1%増、歳出は新型コロナウイルススワクチン接種事業に係る歳入歳出の減はあったが、物価高騰対策の電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業の皆増等で0・4%増。財務諸表の貸借対照表では、地方債の減等で負債の減少は進んでいるが、今後も国庫補助金など特定財源を活用した財政運営や施設の老朽化対策に、より一層取り組み必要がある。

公共施設の維持管理の一元化について

問 一元化による削減努力と効果を伺う。

答 各施設管理者において年2回の定期点検を実施し、屋上の雨水排水の清掃を行うなど、不具合を未然に防いでいる。また、不具合の発生時も緊急性を要しないものはまとめて発注するなど、経費の削減を図っている。従前、各施設管理者が個別に発注していた修繕や法定点検を一括発注して契約件数を削減することで、職員人件費や諸経費の削減等の効果があると考えている。

行政手続プラットフォームの導入について

問 導入の内容と効果について伺う。

答 クラウド型サービスで、行政手続の受付フォームや申し込み予約アンケートフォームなど、職員はパーツを選ぶだけで簡単に様々なフォームを作成できる。学童クラブ入所申し込みや庁内ア

ンケート調査など様々な場面で活用しており、DX推進における効果があったと考える。

避難行動要支援者管理システムについて

問 システム改良の内容を伺う。

答 これまで浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の危険箇所を表示する機能はあったが、当該範囲内における避難行動要支援者を自動抽出する機能がなかったため、令和元年の台風第19号の際に、浸水想定区域内の対象者を絞り込む作業に時間を要したことから、システムベンダーと協議を行い、自動抽出の機能を追加した。

地図情報管理システムについて

問 決算額が40万円増額した理由と導入後の効果を伺う。

答 増額の理由は、精度の高い地図を整備するために、当該地番と周辺地番の形状修正業務を追加したため。導入後の効果は、画地計測に当該システムを使用することで作業時間を短縮し、業務が効率化したこと、加えて都市計画図や土砂災害警戒区域等、他部署が保

有する図面とレイヤーを重ねることが可能となり、より正確な補正率の計算や検証が可能となった。

キャッシュレス決済ポイント還元事業について

問 予算額5682万4千円に対して決算額が6197万8501円に増額となった理由を伺う。

答 福生市商工会によると、利用できるキャッシュレス決済手段をPAY、PAY、auPAY、d払いの3種類に増やしたこと、また、2年連続の実施で利用者の認知が拡大したことが大きな理由と捉えているとのことであった。

子育て世代包括支援センター事業について

問 令和4年度の具体的な取り組みについて伺う。

答 令和4年度は、保健師4名、心理職4名の計8名の体制で関係機関との連携支援の充実に取り組んだ。従前から支援が必要な方については、子ども家庭支援センター係及び教育相談室との定期的な情報交換を行ってきたが、令和4年11月から加えて障害福祉課との間でも定期的な情報交換を開始し、障害を抱える方への対応強化を図っている。

学童クラブとふっさっ子の広場との一体型事業について

問 福生第三小学校、第六小学校、第七小学校での一体型事業本格実施後の効果について伺う。

答 同一敷地内で両事業を行うことにより、当初の目的であった同じ地域に暮らす児童が一緒に時間や体験を共有し、健全な育成を図ることができるようになった。また、日々の育成の中で、ふっさっ子の広場の体験プログラムに学童クラブの児童も参加し、充実した放課後の時間を過ごすことができています。

空き家住宅除却助成金について

問 令和3年度比で空き家住宅除却助成金交付件数が減少した理由を伺う。

答 令和4年度においても事前相談、または申請が16件ほどあったが、そのうち3件はいずれも所有者の都合等により申請までに至らなかった、もしくは申請が取り下げられたため、結果として13件の助成金交付となった。空き家の除却については、所有者の意向等によるものであるため、各年度における助成件数においても変動があるものと考えている。

英語教育推進事業について

問 事業目標のA1上位50%合格に向けた令和4年度の取り組みについて伺う。

答 全小・中学校の英語教育担当者で組織する福生市英語教育推進委員会等の中で、実践の共有やよりよい授業を目指した協議を行うなどして、授業改善に取り組んできた。改善点として、読むこと、聞くこと、書くこと、話すことのうち、話すことが他の内容と比べスコアが低くなっているため、その点を踏まえた授業改善等に取り組んでいく必要があると考えている。

図書自動貸出機の導入について

問 中央図書館及び分館3館へ設置した効果について伺う。

答 自動貸出機により貸出し手続き時間が短縮され、利用者の利便性向上が図られたほか、感染症対策として窓口での接触機会が低減された。一方で、高齢の方は機械操作が苦手で、引き続き窓口で貸し出しを受ける方も多いため、職員が同席して使用方法を丁寧に説明するなど、活用を推進したい。



▲令和4年度一般会計決算を起立多数で認定

令和4年度 会計別決算額

(単位：円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	残額(翌年度繰越額)	
一般会計	30,132,274,679	28,414,749,024	1,717,525,655	
特別会計	国民健康保険特別会計	6,737,489,252	6,407,452,635	330,036,617
	介護保険特別会計	5,006,672,958	4,817,044,763	189,628,195
	後期高齢者医療特別会計	1,481,506,788	1,456,296,701	25,210,087
総合計	43,357,943,677	41,095,543,123	2,262,400,554	

下水道事業会計

(単位：円)

	収入決算額	支出決算額
収益的収支	1,495,993,505	1,328,091,603
資本的収支	721,828,159	1,276,086,054